



NO.574

発行責任者
東村山市民テニスクラブ
会長 川路俊一

<http://www.higashimurayamatennis.com>



スマホはこちらから

11月度運営委員会実施報告（議事録要約版）

日 時	2024年11月10日（日）14時30分～16時30分
場 所	スポーツセンタークラブ室
出 席	川路、小桧山、佐藤、芦刈、愛甲、阿部昌史、山田、篠崎、小林、松原、阿部修
欠 席	梅原、永倉、田中
書 記	阿部修

川路 会長	■柳杯の参加者約70名、新たなルールでの開催だったが盛況のうちに無事終了。 ■忘年会などイベントへの参加者を引き続き増やす努力をお願いしたい。
小桧山 副会長	■以前の市民テの状況とかなり違ってきており、イベント等その状況に応じてやり方の工夫は必須。 ■会員勧誘において対面での声かけ、市民テ確保コート隣の隣接コートでのアプローチの必要性も感じる。より一層会員を増やす努力が必要で有る。 ■因みに、ソフトテニスは若手メンバーが増えている。
伊佐 技術部長	■12/1(日)のスクールは西高で開催予定。 ■12/8(日)は森杯開催のためスクールは休講。
愛甲 広報部長	■2024年の住所付き名簿を各会長あてに送付します。
佐藤 コート取部長	■12月コート情報（別紙①） ■10月に市民テとして60団体を追加登録。 1月分コート申し込みとして30団体440コマ分を使用。
芦刈 会計部長	■10月本部会計報告書（別紙②） ■諏訪クラブ 田部明莉さんの入金を確認済 ■来年度分テニス保険データのもととなる会員名簿（住所付き）を11月中旬に松原事務局長に送付してください。
秋葉 阿部会長	■クラブ 総会：12/14(土) 16:00～ 秋津公民館 第三集会室 ■全体忘年会 参加予定者：11名 ■来年度コート取り担当者は2024年のまま継続予定 ■個人IDをフル活用して下記コート取得率を上げてほしい。 前川コート：A、B、C 運動公園コート：D、E
諏訪 篠崎副会長	■クラブ総会：12/14(土) 16:00～ 中央公民館・第一集会場 ■柳杯参加実績 男子12名 女子8名 ■全体忘年会 参加予定者：12名 ■来年度コート取り担当者は2024年のまま継続予定

天王森 小林会長 ポーム 山田会長 西村イベント部長 (文書報告) 石原柳杯実行 委員長 連盟連絡事項 (小松山理事) 事務局 全体討議事項	■田部明莉さん(田部さんの家族会員) 2025年より再入会 ■クラブ総会：12/7(土) 15:00～ 東村山iタウン集会棟（本町3丁目22） 忘年会17時～（場所未定） ■クラブ総会：12月14日(土) 16:00～17:30 アウリオンシティ・パーティールーム（ロンド前のマンション内） ■全体忘年会 参加予定者：12名 ■来年度コート取り担当者は2024年のまま継続確定 （森田さん、神保さん、井上さん） ■市民テ忘年会の件に関する決定事項（11月10日時点 参加予定者：58名） ・日 程：11月23日(土) ・会 場：東村山市市民ステーション「サンパルネ」コンベンションホール ・開催時間 受付：18:45 開宴：19:00 ・会員会費 男性:¥3,000円 女性:¥2,500円 ジュニア:¥500円 ・市民テOB、OG、家族も参加可能とする。 ※会費は上記各会員の会費プラス¥500円とする。 ■柳杯を11月3日8：00～16：00で実施 参加者からは「楽しい大会でした」の声をいただきました。 ■森清吉杯は市民テから2チーム参加（男子D,女子D,ミックスD）（別紙③） 各クラブで参加者募集して小松山宛に連絡をお願いします。 ■1月26日（日）市民テ定期総会 スポーツセンター大会議室 15時～17時 ■下記別紙④の「クラブ再編 運営委員会決定事項」について運営委員会メンバーには 再確認をお願いする。総会にて運営委員会提案で議案提出予定 ■年末年始西高コート情報 ・12月 1日：9時～13時 ・1月2日：9時～17時 ・12月29日：9時～13時 ・1月3日：9時～17時 ・12月30日：9時～17時 ■来期コート取り担当者の選出方法 各クラブ4名（青葉クラブは3名）とするが、各クラブ継続の予定。 本予約・還付担当者は2名体制の運用となるが、選出はコート取部内で検討する。 ■クラブ再編決定事項 ①現行の4クラブ制を維持する。 ②市民テ本部役員の選出方法の変更について 現行の各クラブ会長からの依頼を、今後は運営委員会推薦に変更する。 ③上記②の対応に伴い、輪番制の廃止、役員就任条件、役員の任期、 役員拒否者への対応等の会則の変更を行う。 ④上記①～③の変更内容で次期総会に提案する。
■次回開催予定日 1月12日（日）運営委員会 スポーツセンタークラブ室 14時30分～17時	

【12月コート情報】

別紙①

運動公園					12月	前川公園（ABC:オムニ DE:クレー）			
7-9	9-11	11-13	13-15	15-17		9-11	11-13	13-15	15-17
—	—	—	—	—	1日（日）	ACDE	CDE	CDE	D
ABCE	CE	CE	E	BE	7日（土）	—	—	—	—
—	—	—	—	—	8日（日）	ACDE	CDE	ACD	AD
ABCE	CE	B	C	BC	14日（土）	—	—	—	—
—	—	—	—	—	15日（日）	ACDE	CDE	ACD	ACD
ABC	BC	BC	BCE	BCE	21日（土）	—	—	—	—
—	—	—	—	—	22日（日）	CD	AD	ACD	ACD
—	—	—	—	—	—	東村山西高校			
—	—	—	—	—	29日（日）	一般開放		—	
—	—	—	—	—	30日（月）	一般開放			
7-9	9-11	9-11	9-11	9-11	12月	9-11	11-13	13-15	15-17

別紙②

2024年本部会計報告書（10月分）

収入科目	予算(案)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	収入計
前期繰越金	1,210,379											
繰越金		1,210,379										1,210,379
年会費	1,891,000	1,908,780			14700							1,923,480
雑収入			10						109			119
クラブ返却金	88			88								88
収入合計	3,101,467	3,119,159	10	88	14,700	0	0	0	109	0	0	3,134,066

支出科目	予算(案)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	支出計	残高
コート代	1,750,000	6,300	116,700	71,900	193,000		103,000	123,900	199,000	900	153,000	967,700	782,300
コート代払戻	-450,000	-900		-14,400		-28,800	-2,700	-27,000	-4,500		-55,800	-134,100	-315,900
各クラブ運営費	262,880	262,880	500									263,380	-500
ボール代	360,000	0	129,360				174,020					303,380	56,620
広報費+振込手数料	20,000	1,480			1,260		750					3,490	16,510
保険料	250,000	217,100				13580						230,680	19,320
技術部費	80,000	0				30000						30,000	50,000
柳杯費	250,000	0										0	250,000
イベント費	80,000	0					5750					5,750	74,250
事務局費	50,000	2,435	6,242	13,483	6,909	870	1,550	3,118			736	35,343	14,657
レンタル倉庫	100,000	8,250	-400	17,120	8,470	8,470	8,470	8,470		16,720			
コート取運営費	10,000	110										110	9,890
連名加盟費 (含 エントリー料)	24,000	0					32,000					32,000	-8,000
小計	2,786,880	497,655	252,402	88,103	209,639	24,120	322,840	108,488	194,500	17,620	97,936	1,737,733	1,049,147
予備費	314,587	0	109130									109,130	205,457
支出合計	3,101,467	497,655	361,532	88,103	209,639	24,120	322,840	108,488	194,500	17,620	97,936	1,846,863	1,254,604
残高		2,621,504	2,259,982	2,171,967	1,977,028	1,952,908	1,630,068	1,521,580	1,327,189	1,309,569	1,211,633		

令和6年度新規団体戦

森杯

森清吉名誉会長寄贈の森杯争奪テニス大会は連盟加盟団体所属者の交流を目的としたチャリティ大会です。収益金全額を地球温暖化防止活動、災害復興支援活動を実践しているNPO法人等に寄贈します。



要項

主催：東村山市テニス連盟 共催：東村山市スポーツ協会

大会名：森杯争奪テニス大会

開催日時：令和6年12月8日（日）

8:00～17:00、

予備日12月22日（日）

会場：東村山市総合運動公園テニスコート（5面）



参加資格

東村山テニス連盟加盟団体に所属するもので構成

1チーム6名から10名（男子3名以上5名まで・女子3名以上5名まで）

参加料金：1チーム10,000円

募集定員：16チーム

連盟加盟各クラブへ優先枠を1枠ずつ設ける。1クラブ4チームを上限とする。



試合方法

種目：ダブルス3種目団体戦（男子・女子・ミックス）

試合球：ダンロップフォート

試合方法：予選リーグ、決勝トーナメント 6ゲーム先取ノーアド（エントリー数、天候等により変更する可能性有り）

ドロー抽選方法：監督会議で決定し、事前にテニス連盟ホームページに掲載。

大会申し込み方法：所属する団体の連盟理事を通し会長今井又は理事小桧山まで電話またはメールにてお申込みください。後程連盟指定口座にエントリー代の振り込みをお願いします。

今井 imai101@gmail.com 携帯 090-2477-6687

小桧山 r.kohiyama@yushin-p.com 携帯 090-2750-0400

別紙④

2024年クラブ再編に関する運営委員会決定事項

◆提案の経緯

2023年秋葉クラブ会長より会員数減少、及び役員依頼時に拒否されるケースが多々あり、役員を掛け持ちする会員が多発した。

特に本部役員選考が困難との指摘を受け、2024年の定期総会にて承認を得、運営委員会で検討を開始した。

◆市民テ入会時の条件について

入会手続き時に入会后4年目からは何らかの役員を担当する事が条件となっている。

◆役員選考に関する運営委員会からの提案

- ・ 輪番制の廃止
- ・ 役員を立候補する会員がいる場合は最優先とし、該当者がいない場合は以下の手順で役員の選考を行う。
- ・ 運営委員会メンバーによる役員指名制度を導入し、クラブを跨いだ選考を行う。
- ・ 役員ポイント制(★)を導入し、役員指名委員会（仮称）がポイントの少ない会員から指名する。
但し、指名された会員の個人的な事情がある場合は指名を取り止めるが、それ以外に妥当な理由が無い場合は退会の対象となる。

★役員ポイント制とは：過去10年間の役員履歴を基に、役員毎のポイント进行合算する。

ポイント制の該当役員：各クラブ会長、事務局（局長、次長、事務局員）、技術部（部長、部員(注)）、
広報部（部長）コート取り部（部長、計画、本予約、還付、部員）
本部会計（部長、副部长）、クラブ選出連盟理事

（注）技術部員はポイントの対象とするが、選考は通例どおり技術部会で行う。

◆決定事由の詳細

現在、役員の輪番制を4クラブ制で運用をしているが、会員数の減少に伴いクラブ内での人材が不足している状況である。

現在の4クラブの再編を行っても役員の選考問題は発生すると思われることから、輪番制を廃止し、各クラブの枠を取り払い全会員から適材適所の役員選出方法を検討した。
4クラブ制を維持しつつ、クラブ横断でのスムーズな役員選考が進められるよう考察した。

◆会則の変更案

・会則 役員の任期 第13条

現会則：本会の役員任期は何れも **1年**とする。但し再任を妨げない、**役員中**欠員を生じた場合、運営委員会で必要と認めた時、11条に基づいて此を補充することが出来る。

但し、任期は前任者の在任期間とする。任期満了後でも後任者の就任があるまではその職務を全うする。

変更案：本会の役員任期は何れも **2年**とする。但し再任を妨げない。**任期中**欠員が生じた場合、運営委員会で必要と認めた時、11条に基づいて此を補充することが出来る。

但し、任期は前任者の在任期間とする。任期満了後でも後任者の就任があるまではその職務を全うする。

~~→(付則)3 役員の輪番制~~ **輪番制廃止の為、削除**

~~-(1) 輪番の役員該当者~~

~~①入会3年目以降の方~~

~~②任期終了後、概ね5年間が過ぎた方。~~

・(付則) 3 役員の就任条件 **新規追加案**

①入会后3年を経過した会員が指名された場合、役員を担当しなければならない。

②任期終了後、1年間は役員を猶予される。

(3) 役員を拒否した会員の取扱い

現会則：役員を拒否された方は、休会等別途相談させていただきます。

なお、休会・退会後の再入会時は、新入会員扱いとせず過去の履歴は残るものとする。

変更案：妥当な理由なく役員を拒否した場合、退会の対象とする。

再入会は出来無い可能性も有る。

フォトギャラリー（ホームページに写真集を掲載中です。）

第23回 柳杯ダブルス団体戦



2024.11.3 西武ドームテニスコート

柳杯参加者全員に盛大な拍手を！

市民テ副会長 天王森クラブ 小松山隆

先日行われた柳杯ですが、今回は今までとは一味違うやり方で開催されました。何が違うかという、我々の参加する団体戦としては2つあります。1つは連盟が主催する元日本代表で東村山と新潟県柏崎の懸け橋となった太田芳郎さんを称える太田杯で、男子ダブルス及び女子ダブルスのクラブ対抗戦、そしてもう一つは市民テ産みの親であり元の東住クラブを立ちあげた柳利夫さんを称えて市民テ独自で開催する柳杯は、ミックスダブルスのクラブ対抗戦ということで毎年行われてきました。なので男ダブル・女ダブルは太田杯、ミックスは柳杯みたいな感じで区別されていました。

柳杯はこのミックスダブルスのクラブ対抗戦といったところにこだわりがあり、数年前から参加人数や男女比に格差が生じ、試合数の不均衡や無理やりの同性同士の組み合わせやダブリ出場なども余儀なくされ実行委員も頭を悩ませていました。

今年も参加者の中での不均衡が生じた状態で柳杯実行委員会が招集され、委員の間で活発な意見が交わされたと聞きます。

石原委員長から僕に相談したいことがあると電話がありました。「今回はミックスの団体戦にこだわるのをやめようと思うんだけどどう思う？」僕は、即答で「いいと思うよ」と回答しました。不均衡が生じるのであればあえて最初から男子ダブルス1本を確定することです。そしてもう一つ「クラブ対抗もやめてごちゃまぜにしようと思うんだけど・・・」僕はそこの部分は少し考えてから「面白いと思う、でもこのチャレンジは実行委員会の手間が増えるけど大丈夫？」と聞き返しました。それも踏まえ、実行委員メンバーの思いは「今回はやってみよう！」でした。

おそらく、今までの歴史へのこだわり、あくまでもチーム戦であるべき、知らない人と組むのはちょっと・・・とか、変えることによって参加者が減るとか、おもしろくなくなるのではとか・・・様々な憶測は承知の上で実行委員メンバーが勝負に出たんです。石原委員長からこの話を聞いたときに今年の実行委員の「熱」というものを感じました。ぼくは「OK！わかった川路さんには話を通しておくよ」柳杯といえば川路会長の肝いりで始まった大会であり、ミックスダブルスのクラブ対抗戦というこだわりがありました。今回はそのこだわりを取っ払って、参加する会員の最大公約数が「楽しめる」ということを優先するチャレンジに、頑固おやじの「かわじい」も快くゴーサインを出してくれました。

ということで、当日委員が準備してくれたクジを参加者全員が引いてチーム分けが行われ、そのチームの「ボス」なるリーダーがチームを仕切るといったミッションも用意されて、熱い団体戦の火ぶたが切って落とされました。全試合同時スタート、同時終了というルールに加え、それぞれのチームごとに考え抜かれた「神オーダー」で好プレー珍プレーに歓喜しました。

今回の参加者は、今まであまりコートに顔を出さない当時ジュニア会員だった2世会員がすっかり大人になって戻ってきました。休部会員も一緒になってとても賑やかでした。その中でも当時ジュニアメンバーのリーダー的存在だった咲子ちゃんの息子のハルくんが場を和ませてくれました。ハル君の周りには将来のテニス仲間を受け入れている温かい姿に、本来あるべき市民テのいいところを見たような気がしました。

老若男女、テニスの実力も凸凹！それが市民テ、それが柳杯の神髄です。時代の流れに沿って変えることや、受け入れることが今の市民テに必要とされることであり、今回は見事に参加者全員でそれをやってのけたといってもよいでしょう。

どうなるかわからないから躊躇するのではなく、迷わず楽しくするのは我々一人ひとりです。